

## 産業廃棄物処理業景況動向調査結果について 〔2022年1-3月期（概要版）〕

公益社団法人全国産業資源循環連合会

### 〔調査結果の概要〕

今期の調査は278社から回答があった。景況判断DIは▲15(前期調査から5ポイント悪化)となった。来期の見通しは▲17となり、2ポイント悪化する見込みとなっている。

経営上の問題点については、「修理、修繕費等の増加」、「従業員の不足」の回答割合が特に高かった。「その他」の記述回答では、燃料費の高騰を懸念する声が多く寄せられた。

以下、その他業況感DIの内訳

2021年10-12月期に対して、

- ・売上高DIは-8で、19ポイント悪化
- ・処理量DIは-15で、17ポイント悪化
- ・営業利益DIは-11で、9ポイント悪化
- ・資金繰りDIは2で、3ポイント改善
- ・借入難易度DIは12で、3ポイント改善
- ・設備投資DIは3で、1ポイント悪化
- ・従業員数DIは0で、2ポイント改善

- 売上高の動向については、前年同期比(3ヶ月平均)で1.4%減となった。
- 処理量の動向については、前年同期比(3ヶ月平均)で5.5%減となった。
- 経常利益率については、平均値が9.6%で前期調査(7.4%)より改善した。

※DIとは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「好転」・「増加」したなどとする企業割合から、「悪化」・「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

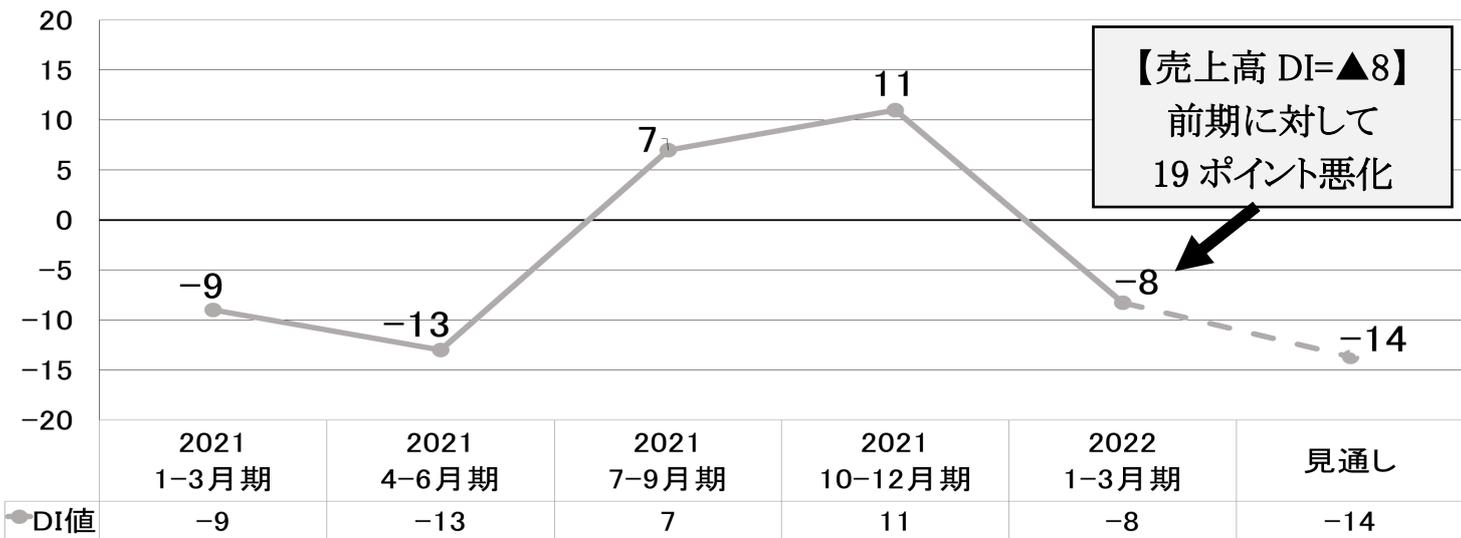
※本調査は、2009年から半期周期の調査として実施していたが、2013年からは四半期周期の調査に変更している。

### 〔調査の要領〕

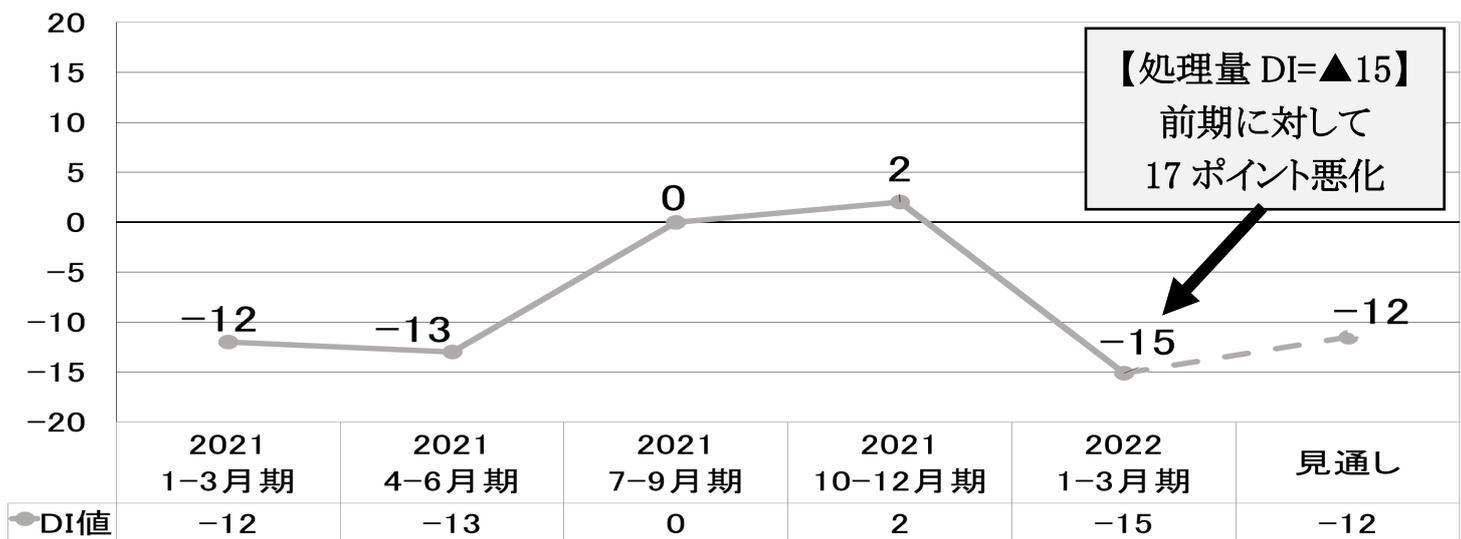
- 全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員
- 調査の方法:Webによるアンケート
- 調査期間:令和4年4月7日~4月30日
- 回答企業数:278社



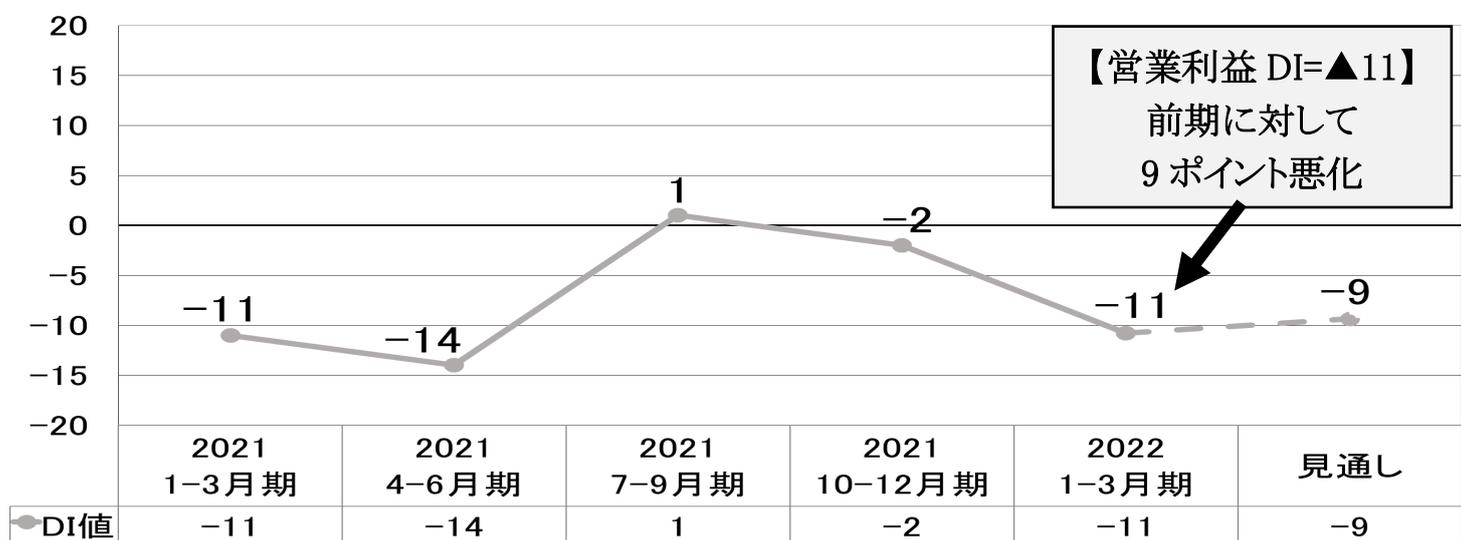
### 売上高DI (2021年1-3月期～2022年1-3月期と見通し)



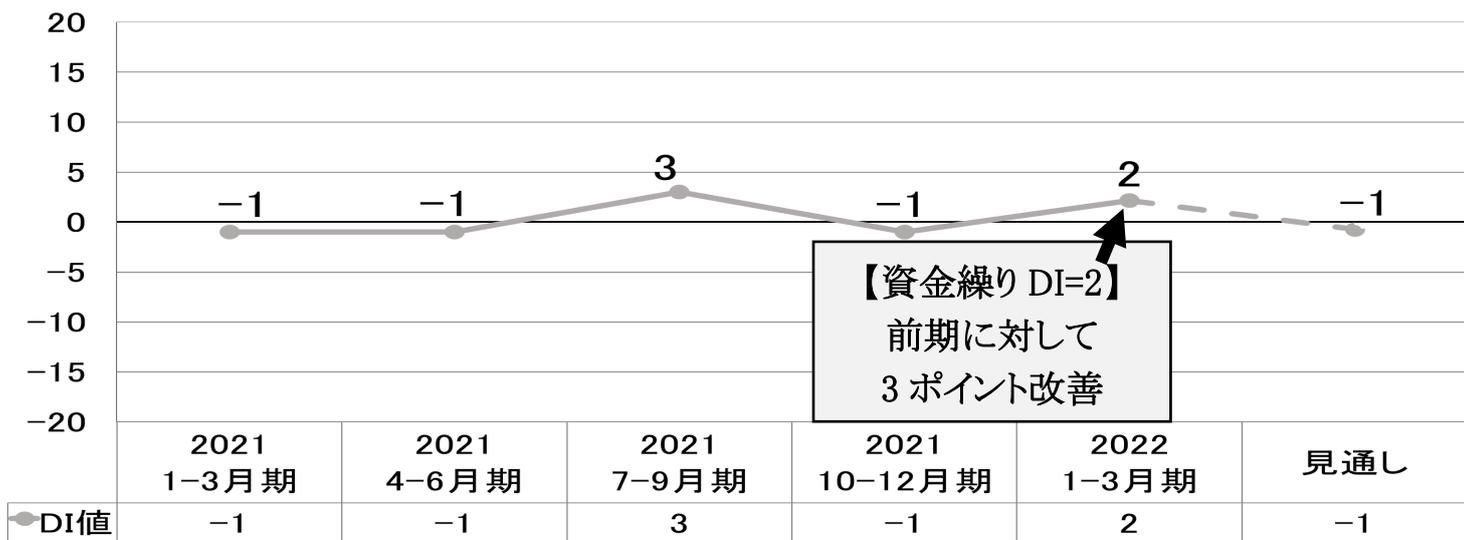
### 処理量DI (2021年1-3月期～2022年1-3月期と見通し)



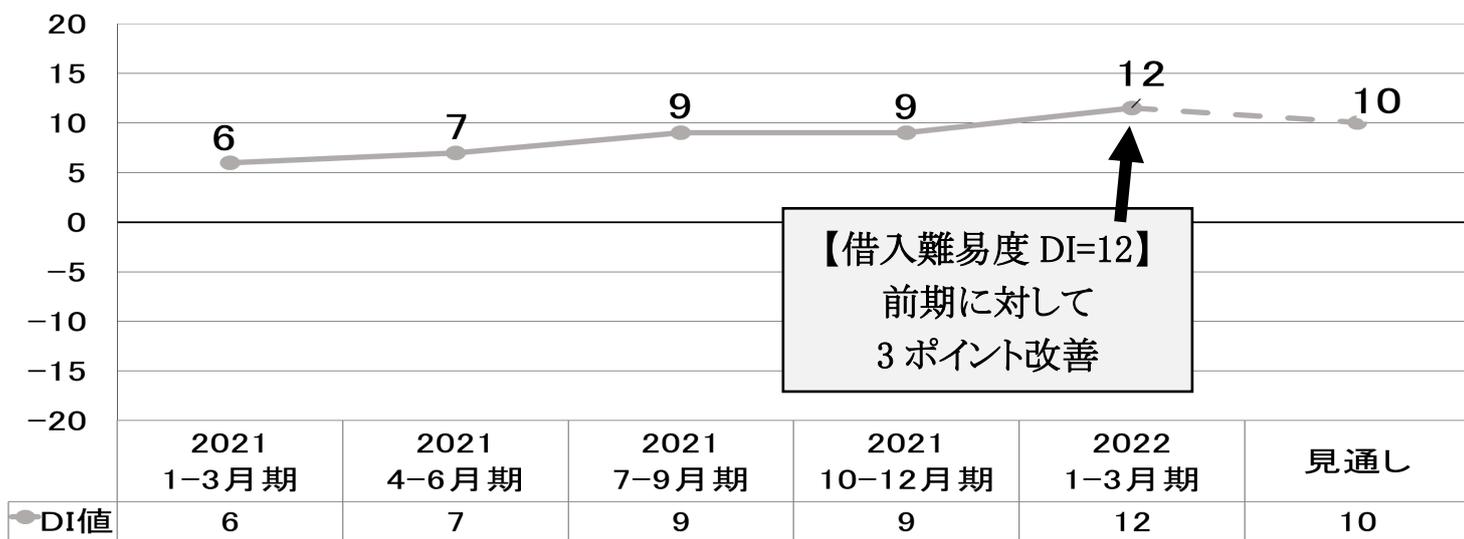
### 営業利益DI (2021年1-3月期～2022年1-3月期と見通し)



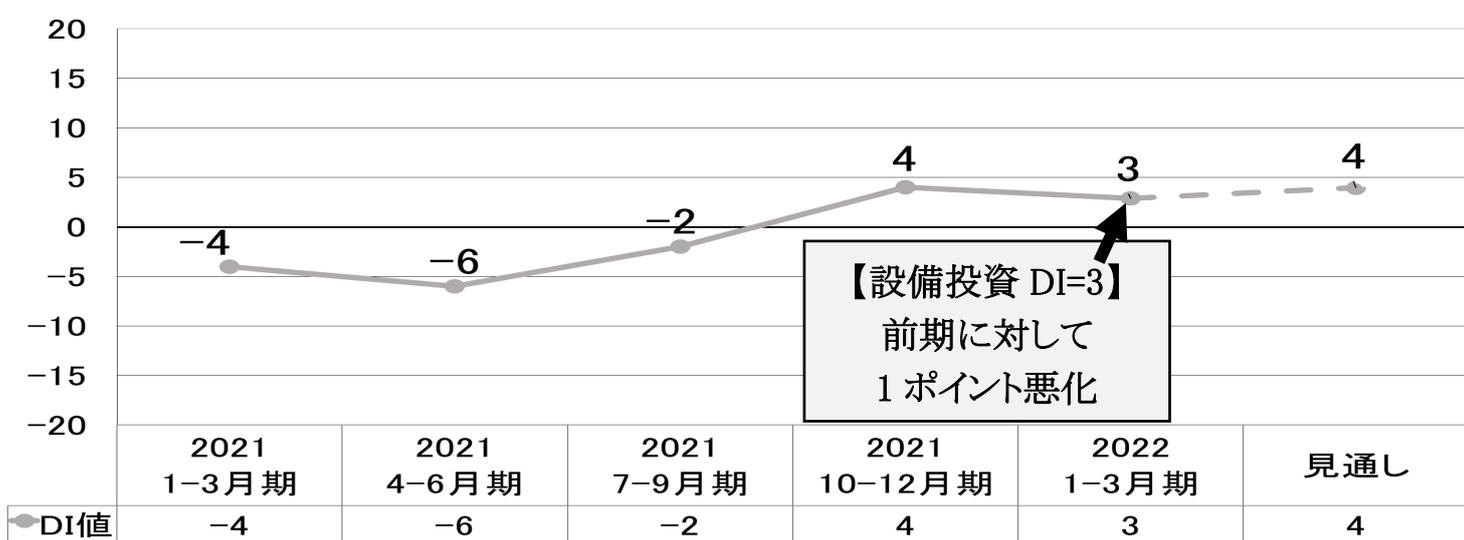
### 資金繰りDI (2021年1-3月期～2022年1-3月期と見通し)



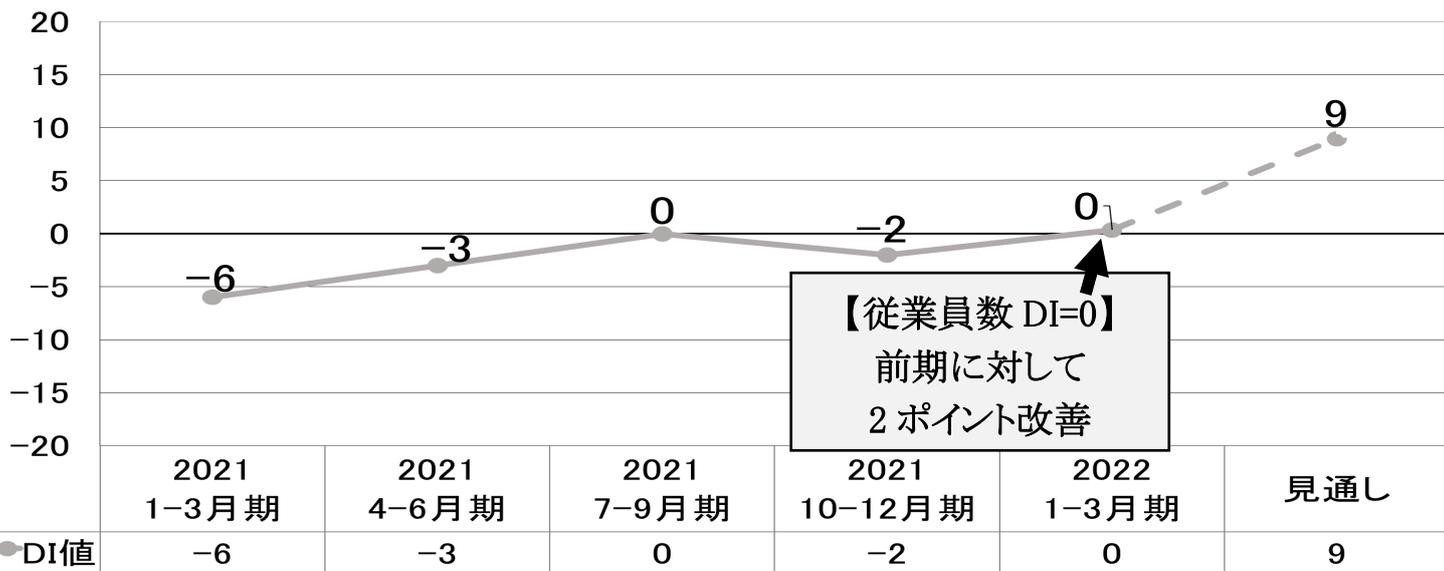
### 借入難易度DI (2021年1-3月期～2022年1-3月期と見通し)



### 設備投資DI (2021年1-3月期～2022年1-3月期と見通し)



## 従業員数DI (2021年1-3月期～2022年1-3月期と見通し)



【売上高、処理量、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数 DI の地域別レーダーチャート】

